

# 令和4年 2月の思いやり通信



## 再生エネ普及へ送電網 新戦略明記 2兆円超投資へ

\*政府は再生可能エネルギーの普及のために次世代送電網を整備を打ち出します。

\*都市部の大消費地に再生エネを送る大容量の送電網をつくります。

\*総額2兆超の投資計画を想定。

\*再生エネの主力となる洋上風力は拠点が地方に多く、発電量の変動も大きくなります。

\*発電能力を増強するだけでなく、消費地に大容量で送るインフラが必要。

\*送電網を火力発電が優先的に使う規制を見直し、再生エネへの割り当てを増やします。

(2022年1月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 再生エネ発電稼働 天候不順が打撃 脱炭素の足かせに

### 寒波や少雨、風量減少・・・

\*世界の天候不順が再生可能エネルギーによる発電に打撃を与えています。  
・2021年は欧米や中国など世界各地で干ばつや寒波、熱波、などの自然災害が相次ぎ、太陽光や風力、水力による発電所の稼働率が低下。大規模停電も発生。

\*異常気象などの気候変動は増加傾向。

・世界の異常気象の件数は、2000年以降の20年間で6701件。1999年までの30年間より5割多く。

\*地球温暖化の悪影響を防ぐための再生エネなのに、気候変動の猛威がやまらず、現実には再生エネを十分に動かせません。

(2022年1月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)